

八十二銀行のあゆみ

■ 地域とともに築き上げてきた基盤を軸に、次なるステージへ

昭和4年の世界恐慌により、地域が困窮した中、当行は第十九銀行と六十三銀行の合併により昭和6年に創立して以来、「蚕糸王国」と呼ばれ、日本の近代化を進める原動力となった信州とともに歩んできました。

その後、製糸業の盛衰を見守り、精密機械工業の黎明期を支え、さまざまな企業活動や地域ごとに特色ある経済活動をサポートし、経済・産業の最前線で長野県とともに成長してきました。

今までも、これからも、地域の皆様とともに新たなステージを目指してまいります。

平成26年



新研修所竣工

平成22年



「新融資支援システム」の稼働開始

平成13年



「じゅうだん会」システム共同化調印式



第十九国立銀行本店(明治20年新築)



六十三銀行本店(大正13年新築、昭和6年八十二銀行本店となる)

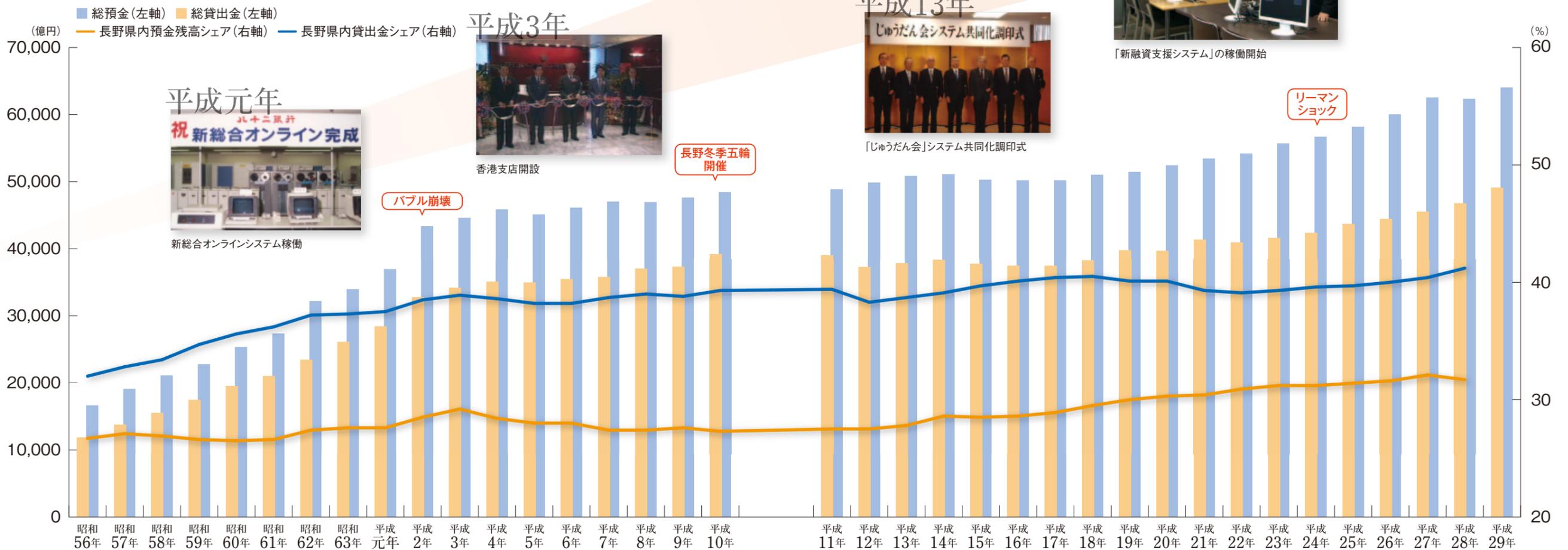
平成3年



香港支店開設

長野冬季五輪開催

バブル崩壊



新総合オンラインシステム稼働

財団法人長野経済研究所設立
商品有価証券売買業務開始

香港駐在員事務所開設

八十二亞洲有限公司設立

信託業務取扱開始

シンガポール駐在員事務所開設

東京営業部設置
投資信託窓口販売業務開始

上海駐在員事務所開設
個人年金保険商品の販売開始

証券仲介業務・証券取次業務開始
カシコン銀行との業務提携

バンコク駐在員事務所開設

八十二証券株式会社を完全子会社化
(旧社名アルプス証券株式会社)

CIMBニアガ銀行との業務提携

大連駐在員事務所開設
銀行本体でのクレジットカード発行を開始

八十二銀行のあゆみ